二夕十日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
發行所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日休刊）

津々浦々の漁村まで 緊縮風浸み込む
江の網その他部落で 各々積金會組織

双葉郡久ノ濱町大字江の網部落民六十戸は大部分漁民よりなつてゐる部落であるがかうした偏僻な漁村の津々浦々にも緊縮風が浸み渡り此程同志會を組織し會長に鈴木辰之助を推し新妻長吉氏を會計として各戸が毎月一圓宛の積金をなす事を申し合はせたが、尚ほ又同村江の網南方部落民は四倉町大字志津一部と協議の上昭和同心會を組織し會長に四倉町字志津飯田友吉氏、會計に久の濱町江の網國玉松藏氏を推して發會式をあげたが、會員約六十名で會員は毎月一口一圓以上の義務積金をなす事となつたがその口數五百口に達してゐる。

又々持ち上つて來た 常磐炭礦合同論

磐城地方の炭礦各社は昨今炭界極度の不振に伴ひ炭質上から賣行難を來し需要期に際し炭價の引上を行ふことは困難でもあり磐城炭礦、大日本炭礦、大倉鑛業の三社が不況對策として大特約店を定め無煙炭の販賣擴張に着手する目的で常磐無煙炭研究會を組織し販賣上の合理化を圖りつゝあるなどあらゆる打開策を講じつゝあるがこれが挽回は容易でなくよつて起る原因は常磐各炭礦が不況の折柄炭販賣の競爭を續け九州、北海道等の炭に壓倒され今日の不振を見るに至つたものでかねて入山炭礦に向つて合同の交渉をなすところありその儘の形勢になつてゐたが近時これが必要が認められ來り常磐炭礦各社合同の聲が漸く高くなつて來た。

小作米 輕減騷ぎ

石城地方の稻作が豫想以上に減收を見てゐる處から各町村に小作料輕減問題が惹起しつゝあり平署では時節柄警戒を嚴にしてゐたが先頃より玉川村に組織立つた爭議が生じた外渡邊村にも小規模の同問題が持上がり更に今回江名町に鈴木某外三十名の小作人が地主阿部善四郎に二割減の要求書を突付て遂に一蹴さるゝに至つたので目下寄り〳〵對抗策を講じてをり事態惡化に傾くなど爭議は表面展開をなして來た、これに依つて消えんとしてゐた各地の小作人間に強大な刺戟を與へ更に擡頭せんとするの形勢が充分なので當局では警戒と共に防止策に狂奔中であるが頗る成行を注視されてゐる

平町會

平町會は二十日午後一時召集左の諸件を協議する。

一、豫算變更の件
一、區長代理者推薦の件
一、町有土地處分の件
一、寄附採納の件
一、行政區變更の件

一路單獨開業に 猛進する磐銀
預金者の調印の進捗 破産申請も取下げ

單獨開業の一路に向つて整理を進めてゐる平町磐城銀行は其の後の整理に漸次進捗し一方整理案に對する預金者の調印も大半蒐集されてゐるので同行では行員を督して殘分の調印求めに努めてゐるが公金預金の對策委員會の成案に對する郡下町村の態度も玉川、大野村外六ヶ村だけで他は未決定であるため大藏省當局に對して整理案並に復活の承認申請も年内には殆んど至難と見られてゐるが平町を始め郡下關係町村も年内には大體その態度を決定するらしい形勢で公金貯金關係が圓滿に解決すれば遲くも來春二月初旬までには全部の手續きを了することを得るものと豫想されてゐる。尚既に同行の破産を申請した石城郡内鄕村當局でも同行の其の後の整理進捗し甦生に向つて有利に展開してゐる狀態を見て大體この破産申請を取下ることに決定してゐると。

月見町、新川町を 二區とする

平町月見町並に新川町は從來二町合せて一區となつてゐたが兩町の發展で區域が廣くなつたため兩町を分離して二區とする事になつた。

家賃値下げ運動 四倉町に飛火
二十四日町民大會

社會民衆黨磐城支部四倉分會では四倉町に於ける借地料並に家賃の値下げ運動を起す事となり來る二十四日午後七時から四倉座に於て演說會並に町民大會を開き三割値下げ要求の決議を行ふ筈であるが、當日は本部から擔當辯護士宗像、伊佐嘉兩氏の外日本借家組合中央執行委員山田忠正外數氏が演說を振ふ筈。

東電の解答如何で 具体的運動起らん
平町電燈値下問題

平町會では滿場一致電燈料の値下案を可決し七名の實行委員を擧げたが委員は過般上京し東部電力株式會社に至り橋本社長その他の重役と會見して値下を迫つた處暫時回答を延期されたき旨の返答にて委員は歸平したが會社側ではその後數回に亘り重役會を開き協議した結果專務取締役西山龜太郎氏は數日中來平伏見町長に最後の回答を與へる事に決定した旨既報の如く會社ではこの値下問題が起つてから先手を打つて取付料とか電球交換料とかの一部値下を行つたが肝心の電燈料金は一文も値下しないので却つて町民より反感を買つた有樣だから西山專務の回答如何によつては町民の表面的運動が勃發する如き情勢にありその回答は最も興味を以て期待されてゐる。

四倉港 縣費支辨

縣會に於て政友派では黨議を開き滿場一致決定を見て代表委員として鈴木辰三郎、山崎吉平、古川傳一の三氏は小柳知事を訪れて四倉港を縣費支辨港灣に編入する諮問案を今期縣會に提案する樣に陳情する所あつたが奏功して十九日縣會に於て左の如く小柳知事から諮問案が提案されこれに對して縣會は滿場一致答申をなした。

▲諮問第二號
左記港灣を縣費支辨港灣に編入せんとす

右諮問す
昭和四年十二月十九日
福島縣知事　小柳牧衛
一、四倉港石城郡四倉町地先

例年の通り
新年ゑはがき
文字ハガキ
クリスマスカード
カレンダー
カルタ、トランプ
當用日記、懷中日記
豊富に取揃へました
マルトモ　柴田書店
電話（二三四番 九〇五番）

平署の 非常召集
旅館料理店の不審訊問を行ふ

平警察署では十九日午後十一時管内巡査に對し非常召集の令狀を發したが午前二時までに集つた者七十三名のうち四十五名午前三時までには全部平警察署に集合荒井署長の命により平町内料理店、旅館に對する不審訊問を行つたがその結果檢擧されたものは

窃盜現行犯　一件
擧動不審訊問　二十八件
藝妓風俗壞亂　四件
盜難防止注意　八件

で午前五時終了し署長の講評があつて召集を終つた。

四倉築港 促進運動

四倉町築港期成同盟會長小港宗吉、副會長長谷川德次郎兩氏外關係町會議員十二名は四倉町長等と共に十六日出縣縣會に對し築港促進運動を行つた。

海岸軌道 事業縮少

石城郡小名濱町磐城海岸軌道會社では十七日午後一時から重役會を召集事業整理のため從業員十二名の馘首整理を決行する事と決定二三日中に正式發表する事となつたが同社は今夏小野晋平氏を社長に迎へて以來社内の改革に努め既に去る九日中從業員十餘名を整理してあるので第二次の馘首發表に對しては各方面から注目されてゐるが從業者間には不穩の空氣も見へないから問題の惹起する如き事はないらしい。

印刷物は加納活版所

▲鈴木牛乳店篤志

四倉町字原町鈴木牛乳店鈴木藤吉氏は亡母の遺言により四倉署人事相談所に白米四俵、四倉消防組に三十圓、四倉小學校に五十圓を寄附した。

强盜犯人

平署に捕はる

十九日午後一時頃石城郡內鄉村大字宮地內を通行中の擧動不審の青年を平署員が發見本署に引致取調べると右は茨城縣東茨城郡粟山村淨光二男山口慶造（一九假名）といひ同人は水戸方面で過般來數回に亘り强竊盜を働いてゐたものであることを自白したので平署ではなほ水戸署その他に照會嚴重取調中である。

虛禮廢止

一丁目　緊縮生

縣では緊縮の折柄に鑑み年末年始に當つて新年會、忘年會並に年末年始の贈答、年賀廻禮等を絕對に廢止することに廳內公私經濟緊縮委員會で決定した上更に高等官食堂からは金百圓、判任官一同からもそれ〴〵醵金して歲末の救民を賑すことになつた相だ。

□

誠によい趣旨である、特に緊縮の折柄であるばかりではない、何時の世でもさういふ心掛であつて欲しいと思ふ、大体この義理、張りといふことほど生活に痛く應へることはない。

□

殊に一家を持つてゐると隣近所やら、懇意やら、それに親戚にやれ不幸だの病氣だの子供が生れたのと毎月二つや三つないことはない、勿論それすら仲々容易でない、吾々細民階級には隅から隅までさうは屆きかねるから大抵のところは略してよく〳〵のものだけに止めて置く積りだが在家などに住まつてゐると中々八ヶ間敷くてとても交際かねてツイ義理を缺くといふことになる。

□

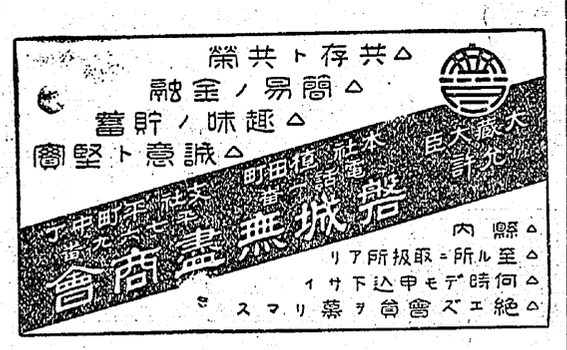
都會での交際にしても同じこと、一家を持つて生活を立ててゆく上に一番惱みになるものは交際だ、交際といふものは一面生活の向上を語るもので出來ることに越したことはないが臺所を犧牲にしてまでも義理張りに力瘤を入れなければならない理由はない。

□

一抔一抔の生活をしてゐるものに取つて必要なことではあるが、義理張り位迷惑なものはない、縣がこの点に目をつけ、廳員一同がこの趣旨を徹底させるべく縣民に手本を示して呉れたことは誠に機宜を得たことである。

□

或村などでも既に村民一般にこうした趣旨に基き虛禮廢止の申合せをしたところもボツボツ見えるやうだが大部分の村民にはその趣旨が少しも行はれてゐないやうだがこの際だから辭令一片のものでなく實際にそれを行ふことに今少しく力を注いで貰ひたいものだ。（緊縮生）



胃腸　内科　專門　十二指腸虫病
梅毒　淋病　婦人病　專門　皮膚病
松村胃性腸病科醫院
（平南町　電話一〇七）

痔の高級內服藥
「ダイサン錠」
平五　山野邊藥局

詰元社會ーソルマ國佛
酒葡萄生
マルソー・ブランク・白
マルソー・ルージ・赤　ℱ1.10
良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

貸家案內
白銀町　料理店旅館向　八十圓
同　商店向　二十圓
同　勤人向　八圓
柳町　同　八圓
舊城跡　同　七圓
仲間町　同　五圓五十錢
同　同　四圓五十錢
五丁目　同　五圓
白銀町　加藤營業所

△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△誠意ト堅固
大藏大臣允許
本社　福田町　電話一番
文社　平町中丁　電話一七六番
磐城無盡商會
△縣內
△至ル所ニ取扱所アリ
△何時デモ申込下サイ
△絕エズ會員ヲ募リマス

電話、水道附
商店向貸家
（家賃十七圓）
平町字新川町三十番地
平町新川町
中野勇吉
電話一三三番

家傳秘方
腫物湯
定價二日分金五十錢
◎いたみはれ物　◎筋骨痛（神經痛に相當す）
◎關節痛（リウマチスに相當す）
◎効能說明　▲いたみはれ物　いたみはれ物と申しましても非常に範圍が廣いのでありますが、本劑が特に効を奏する重なる病名を擧ぐれば　▲顏や脊によく出來る瘍疔　▲指の腫れるへう疽　▲乳腫れ　▲あか切れや刺傷から黴菌が這入つて皮膚と筋肉との間に化膿する皮下蜂窩織炎　▲頸、腋窩、鼠蹊などの腫れる急性淋巴腺炎　▲筋肉の化膿する化膿性筋炎　▲骨の化膿する骨膜炎等凡て化膿性腫物に顯著なる効力があります。勿論病症に依り藥効に遲速ありますが輕症は三日乃至五日位、重症は二週間乃至五週間位で効果を見る事が出來ます。
特約店　平町四丁目　電話一四四
小野藥店

液体空氣會社製（酸素含有量百分中九九・五）
吸入用酸素、酸素吸入器
（東京工業試驗所長證明）
正確ナ体温器、寒暖計
特約店　磐城平町　開內藥局　電四〇番

御心配は御無用です
淋病、消渴、膀胱カタル等の諸症
偉効ある
優秀新藥トリックス
を御試し下さい　定價二圓・三圓・五圓
特約店　平町五丁目角
山野邊藥局

內科　小兒科
花柳病科
（入院應需）
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平長五〇七番

移轉廣告
外科　一般外科　內臟外科
性病科　X光線科
入院隨意（自炊の便あり）
元赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四七五

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話八六番

小學生用　8円50錢ヨリ
中學生用　11円00錢ヨリ
◆當店特製の生地裁縫共に用分ない品です
學生外套特賣
なかや洋服店
平二　電203

東西!!東西!!!　不老長壽をお望みの皆樣へ御披露申し上げます。此の度平町
七丁目に熱心湯が出來ました
藥湯は毎日午前十時からあります。
特効は▼胃腸の弱い人▼精力減退の人▼老衰、病衰の人▼顏色惡るき人▼貧血、冷性の人▼虛弱、病弱の人▼神經痛の人▼リウマチスの人▼子宮血の道の人▼其他一般身體弱き人
湯治の御方は休憩室も澤山あります、二階座敷料共大人一日廿五錢、小人十錢
其他組合定めの通り……此の藥湯は良く効く、良く溫まると大變な評判です……どうぞお運びの程を御願申上ます。